

2012～2013年度 国際ロータリー第2790地区

国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会 合同セミナー

テーマ

『大きく変わる国際奉仕と補助金制度』

報告書



◆日 時 : 平成24年8月4日(土)午前10時点鐘
◆場 所 : 京葉銀行文化プラザ

目 次

◎次 第	2
◎「大きく変わるべき！ 国際奉仕」	4
R財団委員長 織田 吉郎	
◎「夢で終わるな！ R・財団」	7
国際奉仕委員長 村岡 実	
◎「国際親善奨学生はどこへ行く？」	11
学友会会長 秋庭 孝之	
R財団委員 小野塚 雄	
◎「もっと使おう新地区補助金！」	15
国際奉仕委員 岩崎 肇	
R財団委員 関 一憲	
◎「平和フェローってすごい！」	19
R財団委員 青木 忠茂	
◎「グローバル補助金」「プロジェクトを拡大させる？」	27
国際奉仕委員 森井 康夫	
国際奉仕委員 島 正彦	
R財団委員 平野 弘和	
◎特別発表「山羊銀行プロジェクト」	30
木更津東RC 藤野 勉	

次 第

(◎はコーディネーター)

- 12:30 点 鐘 国際奉仕委員長 村岡 実(市川RC)
国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
- 10:10 ご紹介 資料確認 R財団副委員長 伊原 清良(松戸RC)
- 10:20 「合同セミナーに当たって」
地区研修リーダー(R日本財団 評議員) 鈴木 雅博(市原中央RC)
- 10:30 「大きく変わるべき! 国際奉仕」
R財団委員長 織田 吉郎(銚子RC)
- 11:10 「夢で終わるな! R・財団」
国際奉仕委員長 村岡 実(市川RC)
- 11:30 「国際親善奨学生はどこへ行く?」
学友会会長 秋庭 孝之
(対談形式) ◎R財団委員 小野塚 雄(松戸東RC)
- 12:10 「もっと使おう新地区補助金!」
国際奉仕委員 岩崎 肇(佐倉中央RC)
(対談形式) R財団委員 関 一憲(勝浦RC)
- 12:50 食事・休憩
- 13:30 「平和フェローってすごい!」
◎R財団委員 青木 忠茂(船橋RC)
- 13:30 グローバル補助金 「プロジェクトを拡大させる?」
国際奉仕委員 森井 康夫(市川東RC)
◎国際奉仕委員 島 正彦(千葉RC)
(対談形式) R財団委員 平野 弘和(木更津RC)
- 14:50 質疑・応答(休憩)
- 15:00 まとめ・謝辞 R財団委員長 織田 吉郎(銚子RC)
- 15:20 ガバナー挨拶 ガバナー 得居 仁(松戸東RC)
- 15:30 点鐘 R財団委員長 織田 吉郎(銚子RC)

2011～2012年度 国際ロータリー第2790地区

国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会 合同セミナー



大きく変わるべき！ 国際奉仕

資料



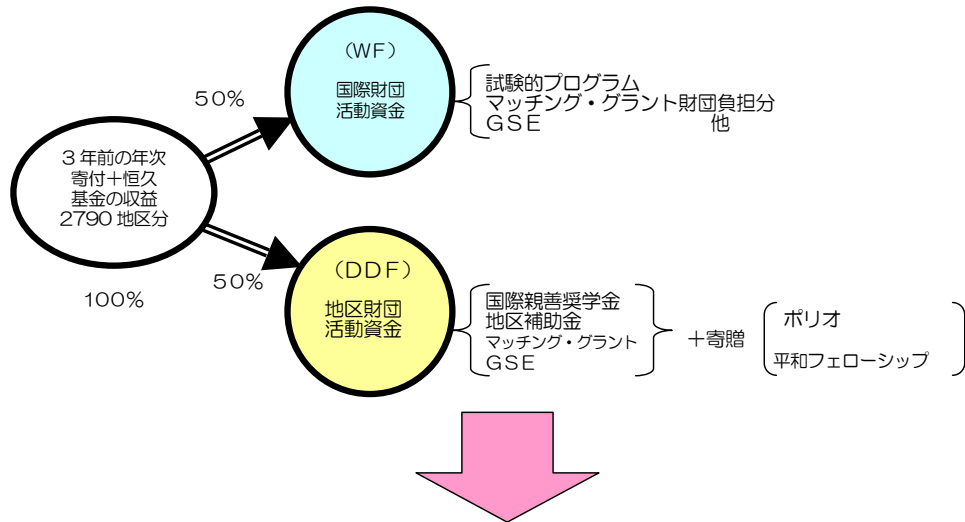
地区ロータリー財団委員会

委員長 織田 吉郎

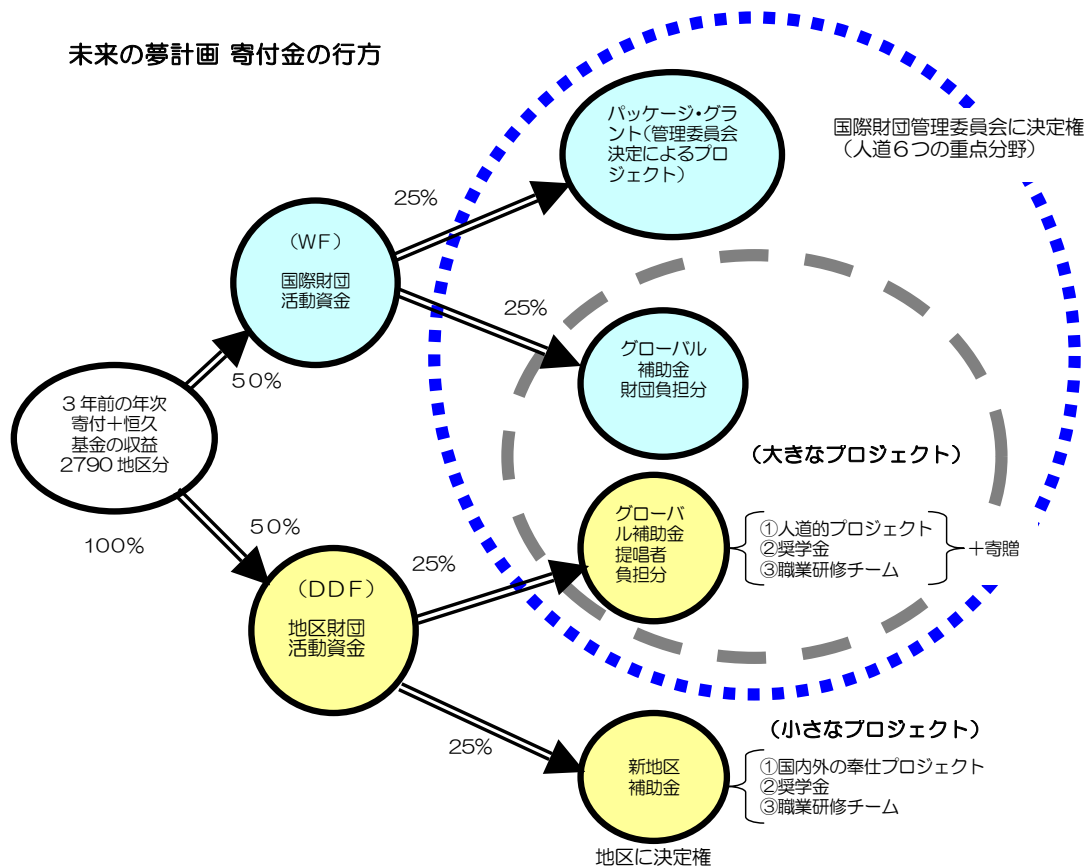
大きく変わる寄付金の行方

作成：2012-13 年度地区R財団委員会

現行の財団制度 寄付金の行方



未来の夢計画 寄付金の行方

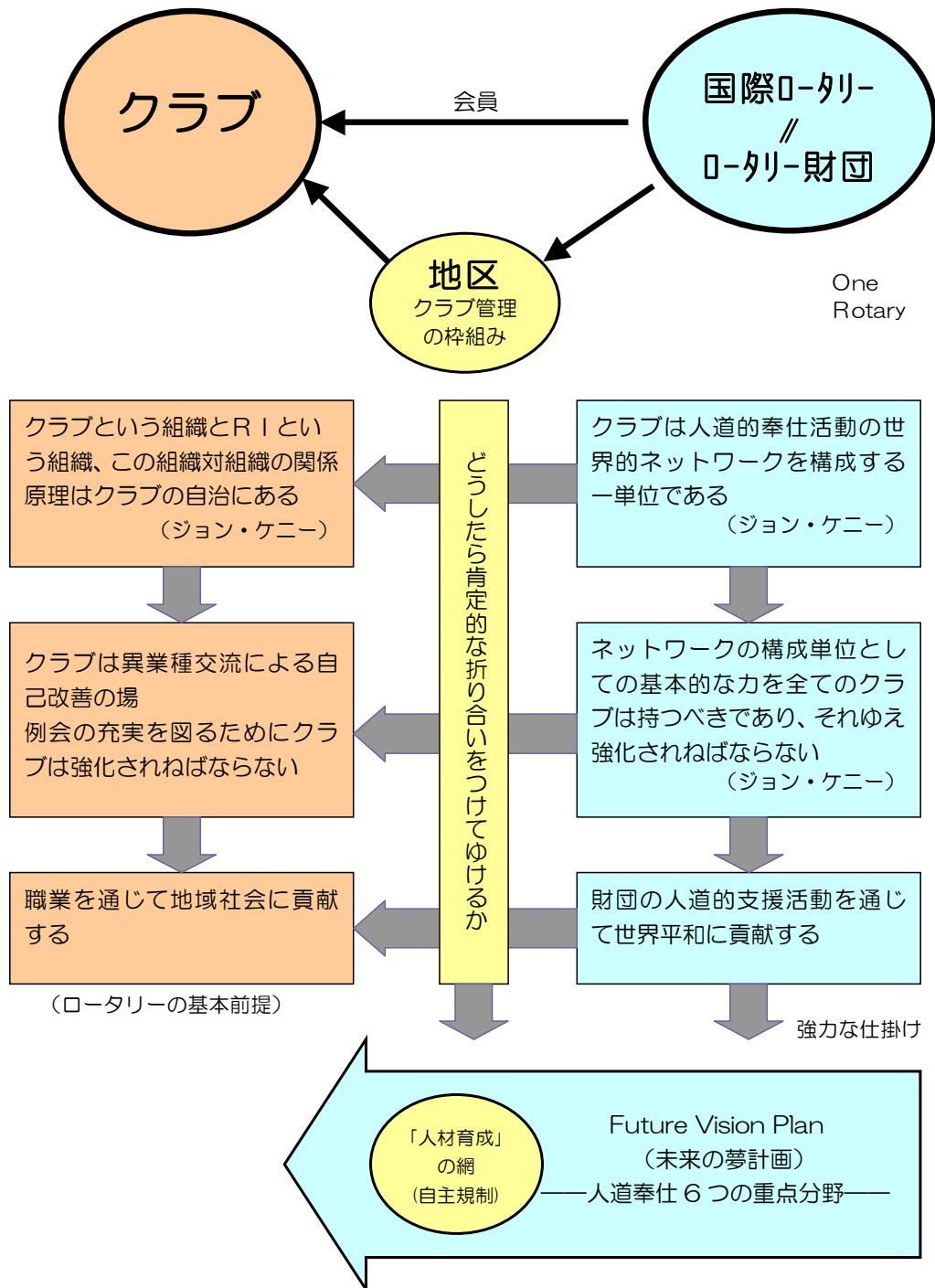


大きく変わる寄付金の行方

作成：2012-13 年度地区R財団委員会

未来の夢計画の背景

作成：2012-13 年度地区R財団委員会



夢で終わるな！ R・財団



地区国際奉仕委員会

委員長 村岡 実

皆さんおはようございます、今年度国際奉仕委員長を仰せつかりました、市川ロータリークラブの村岡でございます、どうぞよろしくお願いいたします。

私自身国際奉仕に関しまして、多くの知識や、また経験があるわけではございませんので、大変力不足であると思いますが、一年間全力で国際奉仕と向き合い、努力させていただきますので、どうか皆様方のお知恵とお力をお借しいただきたいと思います。

先ほどロータリー財団委員長の織田パストガバナーよりご説明のありました、次年度からスタートする「未来の夢計画」に向けて、地区国際奉仕委員会として、新補助金制度のグローバル補助金を対象に、最低でも3つの申請ができるように、新しいプログラムの提案や、申請のための手助けを、地区ロータリー財団委員会と協力して、実行して参りたいと思います、両委員一同よろしくお願いいたします。

また、本日は午前10時から午後4時までの長時間にわたります合同セミナーでございますが、各クラブの会長、幹事様、ロータリー財団委員長、国際奉仕委員長様が参加されておりますので、垣根を越えた色々な意見交換の場となりますよう、進行をさせていただきたいと考えておりますので、どうか皆様方からも、積極的なご意見や、ご質問をいただき、共に、実のある合同セミナーにさせていただきたいと思います、どうかご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日このような形で、地区国際奉仕委員会と地区ロータリー財団委員会が合同でセミナーを開催するということは過去には無かったことだと思います、得居ガバナーは、今年度の地区委員会に対しまして、「第2790地区、委員会クロス・プロモーション」による活動を要請されました、異なる委員会が垣根の枠を超えて、5つの奉仕の分野の委員会が、相互に提携して行動することにより、それぞれが活性化し、また新たな価値を生み出してくれるであろうと申されました、ですから今年度は、本来の国際奉仕委員会としての活動だけでなく、ロータリー財団委員会の新しい補助金システムの「未来の夢計画」についても共に理解をしていただける場を、本日の合同セミナーという形で、開催させていただきました、私も当然初めての経験でございますが、大変素晴らしいことだと思っております。

今年度の国際奉仕委員会は青少年交換がRI常設プログラムと同様に新世代奉仕に帰属されました、また、地区WCS活動もRIプログラムから廃止されました、今まで各クラブの国際奉仕活動の柱の一部であった青少年交換と、地区WCS活動が外れたことで、今後の国際奉仕活動に対しまして、活動計画や、目標を見いだせないクラブがあるかもしれません、それゆえに、地区国際奉仕委員会として、各クラブが行う国際奉仕活動のニーズとは何かを探求し、助言できる体制を整備し、これを実行して参りたいと思います。

今年度は現行の補助金制度、マッチング・グラントと、地区補助金を申請できる最終年度となります、申請日は2013年3月31日までで、5月15日までに承認されることになっております、したが

●夢で終わるな！R・財団

まして、今年度の各クラブの国際奉仕は従来通りということになります。

しかし、次年度からは、新しい補助金制度、「未来の夢計画」がスタートいたします、次年度からのことを、なぜ今年度の委員長が、理解しておかなければならないのかと、考えられる方もいらっしゃると思いますが、この新しい補助金制度の、グローバル補助金は、国際奉仕活動と最も関連があります、この申請は、来年1月の国際協議会の後、たぶん2月ごろから、正式に申請の受け付けが始まります、ですからグローバル補助金の申請を計画するクラブは、実施国と、プロジェクトの内容、計画等の準備を、始めておかなければなりません、もともと当地区はマッチング・グラント等、地区補助金を申請しての国際奉仕活動が、活発に行われている地区ではないように思います、もちろん奉仕活動の実践は、個々のクラブの自治権の範疇にありますので、国際奉仕活動におきましても、当然各クラブの自由であり、無理に補助金を申請しての、国際奉仕活動をやらなければならない訳ではありません、各クラブが積極的に独自の活動をしていただくことが、本来最も望ましい姿であると思います、すでに色々な国際奉仕活動や、クラブ単独のWCS活動を、実践されているクラブは多数あります、また、これから新しい国際奉仕活動にチャレンジされるクラブも、あると思いますが、どうかその活動をさらに充実したものとなるように進めていただきたいと思います、しかし何か新しく国際奉仕活動を計画したいけれども、クラブ単独では、活動に制限があるようなクラブや、グローバル補助金を使って規模の大きな国際奉仕活動に、挑戦してみたいというクラブがあれば、地区国際奉仕委員会として、それぞれのクラブで検討していただけるようなプログラムの提案や、複数のクラブが協力して補助金を使っての国際奉仕活動をするに対しまして、地区ロータリー財団委員会と協力し、クラブの活動を支援することは可能であると考えます。

地区委員会の立場は、個々のロータリークラブがロータリーの綱領を、推進するのを助けることを、唯一の目的とするため、地区委員会が独立した独自のプログラムを展開することはできません、あくまでも個々のクラブが主役でなければならない訳であります、それを手助けするのが地区委員会の立場であると理解いたしております。

それではここで、本日皆様に配布させていただきました、資料をご覧くださいと思います、財団ニュースの6月号に掲載されておりました、日本の6つのパイロット地区でこれまでに承認され、実施された、グローバル補助金プロジェクトの、内容が記載されている資料でございます。

今から2年前に日本で6つのパイロット地区が選ばれました、しかし国際奉仕活動として、実際にグローバル補助金のプロジェクトを実施したのは、この時点では5地区でございます、まず2650地区「7つ」（滋賀、福井、京都、奈良）、2760地区「3つ」（尾張、名古屋、三河）、2580地区「4つ」（中央分区、北分区、東分区、武蔵野分区、多摩分区、沖縄分区）、2830地区「3つ」（青森）、2770地区「5つ」（埼玉）、です、この5つのパイロット地区で2年間に22のグローバル補助金プロジェクトを実施した表であります。

まずホストクラブは、実施国のロータリークラブということになりますが、この辺の詳しい話は、午後の部で実際に活動例を挙げて問題点等を、お話しさせていただく時間がございますので、楽しみにしてください、私の方からの説明は控えさせていただきます。

また、グローバル補助金は6つの重点分野の、いずれかに関連し、その活動が持続可能、かつ測定可能であることが、一つの条件になっております、これは補助金が全額使用された後でも、実施国の地域

●夢で終わるな！R・財団

社会において、どのような恩恵が持続されるか、未永く成果をもたらすかということを、検証してくださいということです、この6つの重点分野とは、本日の資料の、「未来の夢クイックガイド」にも詳しく書かれておりますが、

- 1 平和と紛争予防 紛争解決
- 2 疾病予防と治療
- 3 水と衛生設備
- 4 母子の健康
- 5 基本的教育と識字率向上
- 6 経済と地域社会の発展

という6つの重点分野であります、この財団ニュースの資料には、プロジェクトの内容も記載されておりますので、ぜひクラブで参考にいただき、グローバル補助金を使っての大規模な国際奉仕活動にぜひともチャレンジしていただきたいと思っております。

また、現在クラブ単独で行っている、WCS活動の規模を大きくしてグローバル補助金を申請することも、大変有効な手段であると考えております、本日午後の部ではこの辺も、具体的な例を挙げて、対話方式のパネルディスカッションを企画いたしておりますので、多くのご意見やご質問もいただき、共に有意義なセミナーにしたいと願っております、本日の合同セミナーには、出席ではなく、是非とも参加をしていただきたいと思います、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中ありがとうございました。

【パイロット地区のグローバル補助金】:これまで承認された日本の6つのパイロット地区のグローバル補助金プロジェクトです。

	Global Grant	Pogram Year	Inter national	Host	実施国	重点分野	種別	内容
1	25040	10-11	2650	3810	フィリピン	母子の健康	人道的	貧しいコミュニティの妊婦、新生児および小児保健栄養サービスの促進を支援
2	25047	10-11	2650	2430	トルコ	疾病予防と治療	人道的	アンカラ医科大学において胸部疾患学部へ肺癌治療のためにアルゴン血漿凝固ユニットを供給するための支援
3	25084	10-11	2760	5890	アメリカ	疾病予防と治療	VTT	日本から米国への派遣において、保健インフラの改善を学ぶために医療専門家の研修を提供
4	25106	10-11	2580	7620	アメリカ	平和と紛争予防	奨学金	紛争解決の研究を2年間行なうための奨学金
5	25108	10-11	2580	3140	インド	水と衛生	人道的	インドの部族地帯の村にダム、水濾過作用浄水システムおよびシステム保守トレーニングを供給するための支援
6	25141	10-11	2830	3330	タイ	基本的教育と識字率向上	人道的	150人の教師および教師スーパーバイザーにタイ南部で基礎的な読み書きの能力を支援する(CLE)
7	25151	10-11	2580	3360	タイ	水と衛生	人道的	300の砂防ダムをMae La市のまわりに構築することにより年間を通じての清潔な水にアクセスすることができるよう支援
8	25167	10-11	2770	3810	フィリピン	水と衛生	人道的	フィリピンの小学校に清潔な飲料水および衛生設備を供給するための支援
9	25205	10-11	2770	3500	台湾	基本的教育と識字率向上	人道的	支援が必要な台湾の中学校の図書館の改善と、読書促進キャンペーンを提供
10	25208	10-11	2770	3810	フィリピン	水と衛生	人道的	2つの高校に安全な水道設備を供給するための支援
11	25327	10-11	2760	3500	台湾	基本的教育と識字率向上	人道的	台湾で8つの学校において読書キャンプ、本のローテーションプログラム、読書促進キャンペーンを提供
12	25369	10-11	2580	3420	インドネシア	疾病予防と治療	人道的	医者、看護師、患者、家族および地域メンバーにてんかん患者のためのよりよい治療および理解のために脳波計設備およびトレーニングを供給
13	25409	11-12	2650	3360	タイ	基本的教育と識字率向上	人道的	農村の学生に教育と語学訓練を与えて基礎的なヘルスケアを改善する
14	25480	11-12	2650	5340	アメリカ	疾病予防と治療	奨学金	脂肪肝の研究を2年間行なうための奨学金
15	25542	11-12	2770	3000	インド	水と衛生	人道的	女子校のトイレと衛生訓練の提供
16	25560	11-12	2830	3330	タイ	基本的教育と識字率向上	人道的	読み書きの能力を教えることを改善するために教師、スーパーバイザーおよび学校管理者に集中的な言語のトレーニングを供給
17	25612	11-12	2650	2430	トルコ	疾病予防と治療	人道的	アンカラの小児科病院および胸部疾患クリニックを支援する設備の購入
18	25714	11-12	2650	2070	イタリア	経済と地域社会の発展	奨学金	イタリア社会的協同組合、とくに社会的弱者のための住宅に関する協同組合のプロジェクトに参加し、研究、実践を1年間行なうための奨学金
19	25767	11-12	2770	3000	インド	基本的教育と識字率向上	人道的	恵まれない学校に椅子、机、E-learningの設備を提供し、その管理についてのトレーニングを行なう
20	25799	11-12	2650	1130	イギリス	疾病予防と治療	奨学金	遺伝的多型および肺病を備えたそのassociationについての研究を2年間行なうための奨学金
21	25868	11-12	2760	9600	オーストラリア	疾病予防と治療	VTT	日本からオーストラリアへの派遣において、幹細胞の研究、心臓脈管手術の実態、脳神経外科、ROMAC (Rotary Overseas Medical Aid for Children) プロジェクトの活動を研修するために財政的支援を提供
22	25899	11-12	2830	3330	タイ	水と衛生	人道的	タイの津波によって影響を受けた27の学校で、学生には無料、地元の人は格安で水を提供するための水濾過浄水システムの提供

国際親善奨学生はどこへ行く



国際ロータリー第2790地区

ロータリー財団委員会

学友会会長 秋庭 孝之

奨学金担当 小野塚 雄

★小野塚

本日は、学友会会長の秋庭孝之さんをお招きして、「国際親善奨学生はどこへ行く」というテーマでお話しを伺います。

私は、地区のロータリー財団委員会奨学金を担当しており、学友会兼務しております、松戸東ロータリー・クラブの小野塚 雄と申します。

それでは、秋庭さんに自己紹介をお願い致します。

☆秋庭

国際ロータリー第2790地区学友会の会長をしております秋庭孝之と申します。2005年から2007年まで国際親善奨学生としてタイのチュラロンコン大学の修士課程にて勉強をしてまいりました。まずはこの場を借りまして、ロータリアンの皆様のサポートがあって無事に留学ができたことの御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

私は2008年に日本へ帰国をして、2009年度より学友会にたずさわっております。2009年度に学友会の幹事を、そして2010年度より会長をしており、現在に至ります。本日はどうぞ宜しくお願いします。

★小野塚

「未来の夢計画」に基いて補助金制度が大きく変わります。その中の奨学金制度について説明をしておきます。

奨学金制度は大きく変わります。「国際親善奨学金」の名称は2012～13年度を以って終了する事に成りました。2013～14年度より奨学金の種類・名称が「新地区補助金による奨学金」と「グローバル補助金による奨学金」の2種類に分かれます。

新地区補助金奨学金

このうち、新地区補助金奨学生は山田年度に2013～14年度実施分として2名の採用を予定して活動に入っていますので、次年度はこの2名のオリエンテーションを行うことになります。

次年度は、新地区補助金奨学生の募集および選抜試験は実施されません。次年度1年間、これまでの国際親善奨学金制度の実績を踏まえて関口年度以降、どのような対象に絞って奨学金を行使してゆくべきか、抜本的な見直しを図ることになります。つまり、2012～13年度は2つの奨学金制度について、来るべき2013～14年度未来の夢計画実施年に備えて、グローバル補助金奨学生の募集からロータリー財団運営委員会による採否までのみを行う年となります。

グローバル補助金奨学金

◎目的

他国の教育機関での勉学を通して、異なる国や地域の人々の間に理解と友好関係を推進するとともに、ロータリー財団「未来の夢計画」の目的である、世界の優先的な6つの重点分野『①平和と紛争防止・紛争解決 ②疫病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向

●国際親善奨学生はどこへ行く

上 ⑥『経済と地域社会の発展』に取り組み、持続的かつ測定可能な成果を生む事にあります。奨学生は専門分野の研究を通して国際ロータリーの提唱する活動に協力し貢献する事が期待されています。

◎奨学金の支給の対象

○グローバル補助金の奨学生は、受け入れ国の語学に堪能であること。大学院レベルの教育プログラムで学ぶこと。海外に留学して学ぶこと。6つの重点分野に関する専攻課程で学ぶこと。

○1～4学年間にわたって提供される。

奨学金は総額米貨\$60,000/2年（旅費を含む）支給を予定（支給年数を平均2年と仮定した場合）

グローバル補助金を使用した奨学金では、DDFの拠出金にWFが同額上乘せされます。

奨学金は\$60,000でWFからのグローバル補助金と合わせて\$120,000ですから2名の奨学生を送り出す事が出来ます。

★小野塚

学友会は今まで旧制度の下でどう言う組織で、どう言う活動をしてきましたか？また、学友会の組織及び構成人数などを聞かせて下さい。

☆秋庭

学友会は国際親善奨学生プログラムおよびGSEプログラムを終えたOB・OGによるAlumni、つまり同窓会組織です。1979年に設立され、私にて把握している限りですが、現在GSEは17名、国際親善奨学生は304名によって構成されています。一番古い学友ですと、GSEの方で1969年に、親善奨学生で1971年に留学されており、私が生まれる以前から続く歴史あるプログラムです。

その目的は、学友会会則があるとおりなのですが、簡単にご紹介いたします。

『第3章（目的）』

本会はロータリー精神のよき理解者として会員相互の親睦と関係団体との協力、連携のもとに『国際親善使節』としての使命を自覚し、国際理解と友好に寄与することを目的とする。

第4章（活動）

本会は前条の目的を達するため、次の活動を行う。

- 1 学友間の親睦を図る活動。
- 2 留学、研修、研究グループ交換の計画に参加することが決定した者及び参加中の学友に協力する活動。
- 3 ロータリーとの連携を密にする活動
- 4 その他本会の目的を達するために必要な活動。』

となります。

★小野塚

旧奨学金制度の下で地区財団委員会との関わりはどうだったのでしょうか？

☆秋庭

先ほどの活動内容の2にもありますとおり、「留学、研修、研究グループ交換の計画に参加することが決定した者及び参加中の学友に協力する活動。」という形で、国際親善奨学生プログラムに関わる財団委員会主催イベントのお手伝いをしてきました。具体的には奨学金プログラムの説明会、選考会、そして奨学候補生に対するオリエンテーションと、晴れて奨学生になった方々の壮行会のサポートとして、運営補助や学友助言、卓話などをさせていただきました。

また毎年12月に私どもは総会を開催して、1年の活動や次年度の活動予定などを報告しているのですが、その総会の後にクリスマス会を開いています。そこでは、財団委員会の方々をはじめ、

●国際親善奨学生はどこへ行く

カウンセラーやお世話になったロータリアンをお呼びして、感謝の気持ちを表し、親睦を深めております。私が本日付けているロータリーのネクタイも、クリスマス会のプレゼント交換でロータリアンの方からいただいたものです。

★小野塚

財団委員会としても初めての制度なので、これから学友会にどういう形で協力を仰ぐのか、など具体的な方向は決まっていますが、これから一つ一つ取り組む事にして行きたいと思います。

学友会としては今後どのように活動を展開しようとしているのか、具体的な活動方針などが有れば示して頂きたいと思います。

☆秋庭

先に申しました通り、私たちの活動の半分以上が国際親善奨学生に関わる財団委員会主催イベントのサポートでした。今後、グローバル補助金奨学生の制度にかわり、選考自体を地区で行わなくなるので自然とサポートする場がなくなります。学友会活動に関しても転機にきていると思います。そこでいま考えているのは学友会がメインとなり実施するイベントの開催です。

私は2009年度に学友会の幹事、そして2010年度より会長に就いており、まだ学友会に関わって短いのですが、これは職業奉仕と呼んでよいのかわかりませんが、私自身がイベントを制作する仕事をしておりますので、どうにか学友会主催のイベントを開催し、会の目的である『国際親善使節』としての使命を自覚し、国際理解と友好に寄与することができないかと考えておりました。ただ、実際学友同士のコミュニケーションがあまり取れていない状態でしたので、まずは学友間がつながるような仕組みを考えてまいりました。といいますのも国際親善奨学生として海外に留学された方が必ずしもこの千葉の地に戻ってくるということは少なく、皆さん研究のため海外に残られたり、海外で就職したり、日本に戻ったとしても地方で活躍されるケースも多くあります。

そのため2009年度には学友会の名簿を作成、2010年には学友会のホームページを作成し、グループメールにて学友間をイーメールで連絡が取れるような仕組みをつくりました。2011年にはフェイスブックというSNS、インターネット上で昔の友人を探し、インターネット上でつながりコミュニケーションがとれるのですが、そこに第2790地区学友会のページを作成して、海外にいてもコミュニケーションが取れる仕組みをつくりました。そして、今年はそのつながた学友のネットワークを使いながら実際にイベントを開催できないかというのが現在、私が考えていることです。

インターネット上でつながるというのは正直ベストではないかもしれませんが。

実は5月に開催されたバンコクの国際大会の前に学友祝賀会と呼ばれる会が開催されて、参加してきました。各国からの学友が集まり意見交換をしたのですが、そこでやはり学友間のコミュニケーションの話題がでました。特に第2790地区は千葉県というある程度決まった地域でのくくりですが、国によっては、国の半分で1つの学友会しかないところもあります。そういった国では、やはり最新の技術を使い、スカイプでテレビ電話の会議を行ったり、フェイスブックで連絡を取り合ったりしているとおっしゃってました。もちろん、実際に顔を合わせて会話することも重要で、年に少なくとも2回は集まる機会があるとのことでした。学友間が距離的に離れているという現実を前に、私たちも技術を駆使してつながり、やはり年に何度かは顔を合わせて話そうと思っています。

実は7月には、新年度の学友会役員数名にてキックオフを開催し、そこで、今年はぜひ気軽に学友だけで会えるような機会を設けたいとの話ができました。そこで異業種交流会のようなものを企画し、学友会メーリングリストに流したのですが、残念ながら今回は予定があわなく開催までいかなかったのですが、今後もこういった機会は設けたいと思っています。またこのメールのやりとりで参加はできないものの、返事をくださった海外在住の学友もあり、少しずつではありますが、学友間のコミュニケーションが取り始めてるのを感じています。

★小野塚

我々R財団委員会は学友会はロータリーの宝であると認識しています。学友会のネットワークをグローバル補助金奨学生候補発掘や、受け入れ地区のクラブ探し等にも協力して頂けるのではない

●国際親善奨学生はどこへ行く

かと考えていますが、いかがでしょうか？

☆秋庭

グローバル補助金奨学生候補に関しては学友のネットワークにてご協力は可だと思います。特に開発や平和といったテーマを研究した学友は多いので、そういった学友を通して、お手伝いできると思います。

受け入れクラブに関しては、いままではエヴァンストンの本部にて指定されておりました。今後、グローバル補助金では地区で受け入れクラブを探す必要があるということで、私どもの学友が過去に滞在した最寄りクラブであれば、その学友を通じて声をかけることは可能だと思います。

また申し忘れましたが、昨年10月に日本各国の学友会をまとめる日本ロータリー学友会という組織が発足しまして、私共2790地区学友会も今年のあたりに正式に加入いたしました。日本各地にはさまざまな国に留学をした学友がおりますので、このネットワークを使えば、受け入れ地区のクラブを探すことは可能だと思います。ロータリーの学友は、受け入れクラブ、そしてカウンセラーがいることが、このロータリーの奨学生プログラムが他の奨学金とは大きく異なり優れている点であり、またそのことを誇りに思っておりますので、各地で協力してもらえらることでしょう。

★小野塚

グローバル補助金奨学生と今までの新地区補助金奨学生とでは、帰国後の学友会活動に何らかの違いや影響は有るのでしょうか？

☆秋庭

ございません。むしろ学友会側からは、グローバル補助金奨学生として将来の設計までしっかりとされて留学される方が、千葉に戻ってきてくれるのかという心配があります。ですので、ここ数年で広がったメーリングリストやフェイスブックといった仕組みをつかって、遠方からでも学友会活動に参加できるようになっていくのではないかと思います。

★小野塚

持ち時間が来たようです。纏めに入らせて頂きますが、補助金制度が変わり、国際親善奨学金制度が無くなりますが、それに変わるグローバル補助金奨学金制度の下でも、ITを駆使したネットワーク作りによって、地区内の学友会組織にとどまらず、日本全国、また、海外の学友会組織とも交流を持てると言う事になりそうです。

若い人たちの新たなITツールによる、新しい形での学友会は見事に継続して行く事と感じました。「国際親善奨学生はどこへ行く」と言うテーマでしたが、国際親善奨学生はどこへも行かず、新しい形で我々ロータリーと関わって行くと言う事です。

もっと使おう新地区補助金！

資料



地区国際奉仕委員会

委員 岩崎 肇

ロータリー財団委員会

委員 関 一憲

もっと使おう新地区補助金

岩崎肇 国際奉仕委員
(佐倉中央RC)

関一憲 R財団補助金担当委員
(勝浦RC)

1

奉仕について、思うこと

発表者

岩崎肇 国際奉仕委員
(佐倉中央RC)

ロータリーに所属して、奉仕について、
自分が感じていること、思っていること

2

二つのやるべきこと

① 従来の地区補助金活用事業

② 未来の夢計画に向けた準備活動
(新地区補助金活用の計画)

3

地区補助金活用例

4

地区補助金スケジュール

- 各クラブは奉仕活動の企画・活動方針・活動計画・予算書などを作成
- 9月末日までに各クラブは地区補助金申請書提出(地区R財団宛て)
- 11月中に補助金決定金額を各クラブの口座に振り込み予定
- クラブは奉仕プロジェクト実施(7月～2月末にはプロジェクト完了が望ましい)
- 2月～3月初旬までにクラブは報告書をR財団委員会に提出
- 3月～4月初旬までにR財団委員会よりRⅠに最終報告書提出

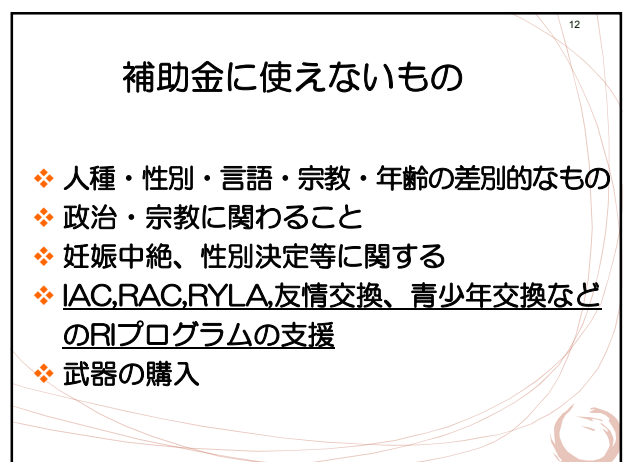
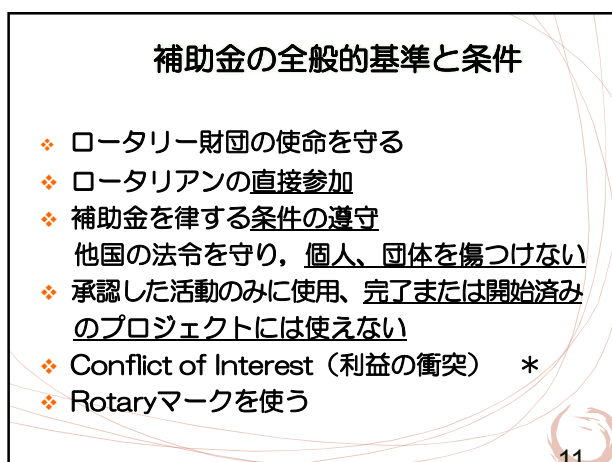
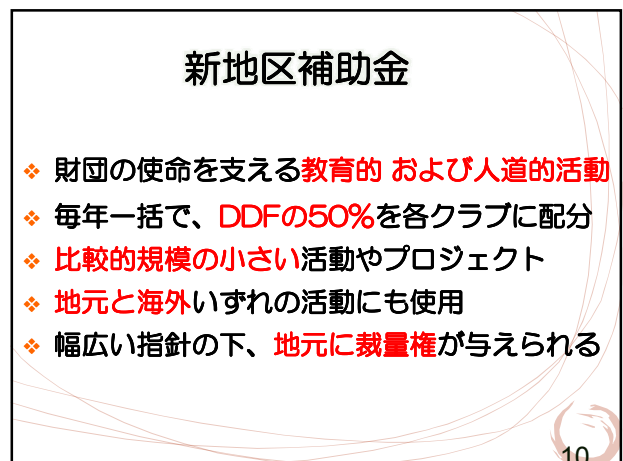
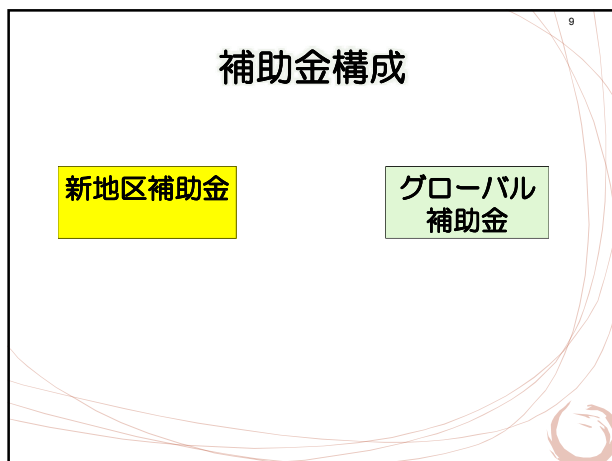
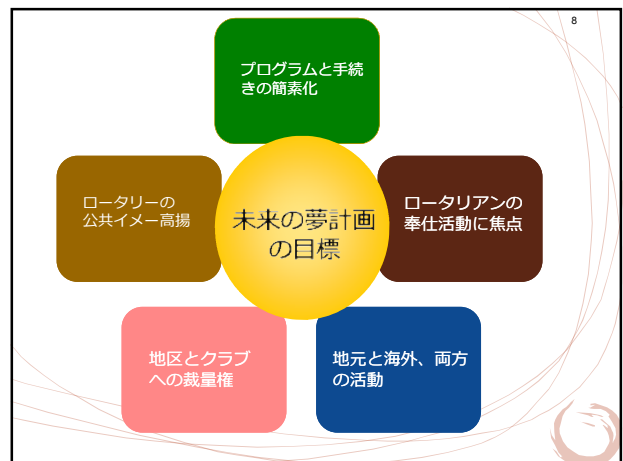
注) RⅠに提出した最終報告書の内容が人道的補助金プログラムとして受理されなかった場合、各クラブに送金された補助金は返還しなければなりません。
申請用紙など詳しくは2012年地区協議会冊子P74～P77参照
スケジュール配布済み

5

未来の夢計画(新地区補助金)

新補助金制度の理解のために

6



新地区補助金スケジュール

- 各クラブは奉仕活動の企画・活動方針・活動計画・予算書などを作成
- **今年度3月～4月**に各クラブは地区補助金申請書提出（R財団委員会宛て）
- **今年度中**にR財団委員会会議により申請内容審議および財団へ一括申請（年度一回限り）
- **次年度**に財団より地区へ補助金交付次第、各クラブへ補助金交付
- クラブが事業の実施
- 事業完了後クラブは地区へ最終報告書提出
- 地区が財団に最終報告書提出

13

目的は・・・

クラブの活性化

14

ご清聴
ありがとうございました

15

平和フェローってすごい！

資料



地区ロータリー財団委員会

委員 青木 忠茂

平和フェローってすごい！

平和フェローってすごい！

ロータリー平和フェローシップ・プログラム
「フェロー・学友は世界の宝物」



地区ロータリー財団委員会
委員 青木 忠茂

1





ロータリー平和フェローシップ・プログラム
「フェロー・学友は世界の宝物」

青木 忠茂

2




国際ロータリー第2790地区
1984年度 ロータリー財団国際親善奨学生
山崎 直子 Naoko Yamazaki
留学生: 米国 ミネソタ大学 経済学専攻 松戸中地区C

3



平和フェローってすごい！



平和および紛争解決の分野における 国際問題研究のためのロータリーセンター

このプログラムは、ポール・ハリス没後50周年とロータリー財団の教育的プログラム創設50周年を記念して、ロータリー財団の使命である国際理解と世界平和を推進するために設立された「ロータリー平和センター」で、①修士号取得プログラム②専門能力開発修了証取得プログラムを学ぶ学生を支援する奨学金制度です。

創設当初は、ロータリー平和センターの1つであったパリ政治学院が2005-07年度から、また2010年度より米国カリフォルニア大学バークレイ校、2012-13年度からアルゼンチンのサルバドル大学がこのプログラムを離脱しましたが、タイのチュラロンコーン大学の短期試験的なプログラムが2009-10年度から恒久的な財団プログラムとなり、また、スウェーデンのウプサラ大学が2011-12年度より新たに加わり、現在は世界中に7大学、6ロータリー平和センターとなっています。



ロータリー平和センター・ プログラムの目的

- 平和、親善、紛争の原因と世界理解の問題に関する研究、指導出版、実地経験を増進し、支援する。
- 現場で活動する人々と学者との交流を通じ、能力、知識、技能を向上させながら、平和と寛容の文化を目指して努力するよう人々を鼓舞する。
- 平和と紛争解決の分野において、国際的で高度な教育の機会を提供する。
- 世界理解と平和を達成する為、ロータリー財団およびロータリアンが、効果的に人々に寛容の精神と協力を推進する手段を提供する。

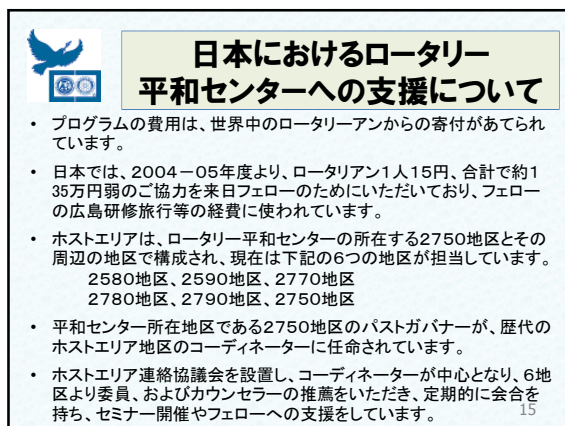
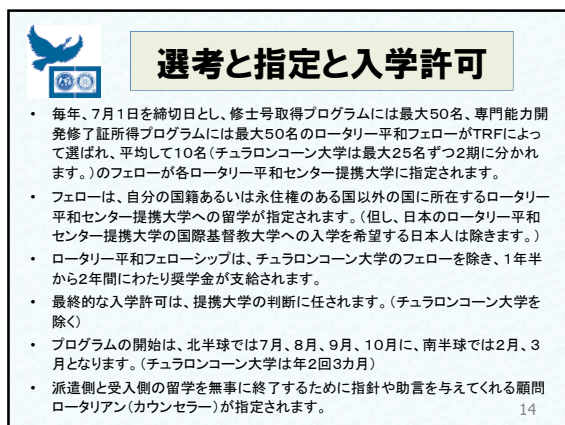
★2012年1月に開催された国際協議会において、RI会長エレクトの田中作次氏は、2012-13年度のRIのテーマを「奉仕を通じて平和を」と力強く宣言されました。



応募者の資格条件

- 職業や学業における業績、個人的活動、社会奉仕活動を通じて、国際理解と平和に対する熱意と献身を明らかに示していること
- 申請時に、優秀な成績で関連分野における学士号、またはそれに相当する学位を保持していること
- 修士号取得プログラムの場合、有給、無給を問わず、関連分野に於いて合計3年以上のフルタイムの職務経験を有すること
- 専門能力開発修了証取得プログラムの場合、現在フルタイムで中堅職または上級職として雇用されており、関連分野に於いて少なくとも5年間の職務経験を有していること
- 修士号取得プログラムの場合は第二言語、専門能力開発修了証取得プログラムの場合は英語に堪能であること
- 優れた指導力（リーダーシップ）を備えていること

平和フェローってすごい！



平和フェローってすごい！

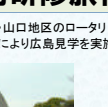


平和フェローってすごい！



広島研修旅行

毎年、広島・山口地区のロータリー
アンの協力により広島見学を実施



宮島にて



平和記念公園にて



広島・山口地区のロータリアンのみなさんと

被爆者の証言、平和研究者とのセミナーなど広島での経験によって、フェローたちの研究に取り組む姿勢がさらに強化されました。日本以外では経験のできない有意義なプログラムとなっています。



ロータリー・センター(ICU)

第10期フェロー及びカウンセラー

 Adamou Hamadou D7720(Niger) カウンセラー 鈴木 克己 D2580(東京武蔵野 R C)	 Jarunee Jansuangchai D3550(Thailand) カウンセラー 堀口 紫 D2580(東京東 R C)	 Allison A. Kwezell D6780(U.S.A.) カウンセラー 亀嶋 雄三 D2550(横浜都筑RC)	 Chia-Yin Lin D3520(Taiwan) カウンセラー 青木 松枝 D2590(川崎中央RC)
 Christopher J. Lindstrom D5100(U.S.A.) カウンセラー 奥谷 孝 D2770(清和 R C)	 Maria C. Morell D4815(Argentine) カウンセラー 田中 保雄 D2790(市川東 R C)	 Auriel R. Niemack D9400(South Africa) カウンセラー 福沢 英文 D2750 (東京八王子南RC)	 Taylor C. Stevenson D5100(U.S.A.) カウンセラー 渡多野裕子 D2750 (東京恵比寿RC)
 Melissa Toupin-Laforge D77010(Canada) カウンセラー 須田 基寿 D2750(東京三友RC)			



日本人のロータリー平和フェロー

(全24名<第9期生まで>)

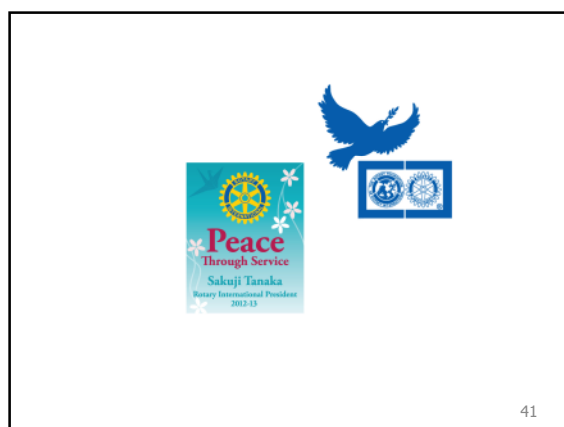
 杉山 実志 さん(第1期フェロー) 2002—04 ノースカロライナ大学チャペルヒル校 東京、日本財団海外グループの プロジェクト・コーディネーターとして 働いています。  鶴井 麻衣 さん(第2期フェロー) 2003—05 ノースカロライナ大学チャペルヒル校 ジョネープにある国際関係長等 海外留学奨励の要員について います。  永谷 裕香 さん(第7期フェロー) 2008—10 ブラッドフォード大学 アフリカ、南アジアにおける平和と紛争 現状、特に女性の立場に関する研究に 取り組み、2010年に帰国されました。	 岸谷 典雄 さん(第2期フェロー) 2003—05 ブラッドフォード大学 日本のNGO組織「Peace Winds Japan」と共に イラクへの人道支援活動、イラクの平和に 対する意識が研鑽され、第2回中東国際法 を授けられました。  清水 麻衣子 さん (第3期フェロー) 2004—06 クイーンズランド大学 在豪ティモール日本 大使館での専門調査員 として3年勤務。  次は日本経済のスポン サーとして、海外市場 の動向を調査する予定 です。
---	---

A group of ten people, including students and faculty, are standing in a line on a stage in front of a large white screen. A man in a suit is speaking at a podium on the right. The group consists of nine people standing in a line and one person partially visible at the podium. They are dressed in a mix of formal and semi-formal attire. The background is a plain white screen. The floor is light-colored wood. The overall atmosphere is professional and academic.

平和フェローってすごい！



平和フェローってすごい！



グローバル補助金 プロジェクトを拡大させる？

資料



地区国際奉仕委員会

委員 森井 康夫

地区国際奉仕委員会

委員 島 正彦

ロータリー財団委員会

委員 平野 弘和

グローバル補助金 プロジェクトを拡大させる？

グローバル補助金

「プロジェクトを拡大させる？」



地区国際奉仕委員会
委員 森井 康夫

地区国際奉仕委員会
委員 島 正彦

ロータリー財団委員会
委員 平野 弘和

1

進行案

- 1 6つの重点分野の再確認 5分
- 2 事例発表 平野 弘和会員(木更津RC) 20分
- 3 フリーディスカッション(事例発表を参考にして・・・)
森井 康夫会員(市川東RC)他 20分
- 4 総括等 5分

2

6つの重点分野

1 平和と紛争予防／紛争解決

ロータリーは、平和と紛争予防／紛争解決のための研修、教育、実践を支援します。

2 疾病予防と治療

ロータリーは、疾病の原因と影響を減らすための活動と研修を支援します。

3 水と衛生

ロータリーは、安全な飲み水と基本的な衛生設備を提供するための活動と研修を支援します。

4 母子の健康

ロータリーは、母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援します。

5 基本的教育と識字率向上

ロータリーは、すべての子どもたちのための教育を改善し、子どもと成人の識字率を高めるための活動と研修を支援します。

6 経済と地域社会の発展

ロータリーは、人々が生活と地域社会の経済に、末長い発展をもたらしていけるよう支援します。

3

未来の夢計画に向けての アプローチ

クラブ単独WCSを発展させて

4

米山記念奨学生バドザヤさん

(新モンゴル高校第1期生)

受け入れから広がった人の輪

5

新モンゴル高校校長ジャンチブ氏との 出会い

ジャンチブ氏は元米山記念奨学生

昨年2月にフレールRCに入会し
ロータリアンとなった

6

フレ－RCと奉仕プロジェクトを 共同で実施

ウブルハンガイ県ブルド村の12年制
小・中・高等学校の学校長に図書等の
贈呈を行った。

7

図書の贈呈式



8

新たな奉仕活動に向けての 現地ニーズ調査を実施

貧困家庭の子どもの就学援助をしている
センターを訪問し、実態について聞き取り
調査を行った。

9

児童相談所と児童館を兼ねた 機能をもつ国の施設



10

グローバル補助金対象事業に 向けてのプロセス

- ・実施国のRCと親密な関係
- ・正確なニーズ調査の実施
- ・言葉の障壁

11

◎特別発表

山羊銀行プロジェクト

木更津東ロータリー・クラブ

藤野 勉

クラブでは、２００７年よりネパール・ダンプス村において、教育支援を続けております。

２００９年には、この教育支援を一步進めて、持続可能であること、自助努力を求めることの二条件を前提に、新たに山羊基金事業を始めました。

この事業は、学校に行きたくとも行くことのできない児童を抱えた貧困家庭に山羊を贈り、自らの努力で育て、繁殖させることにより生活の向上を計り、子供達に就学の機会を与えることです。

ネパールでは、１０頭の山羊がいれば最低限の生活が成り立つということです。そして、山羊は繁殖力が旺盛で、１回に２～３頭の子山羊を出産し、うまく行くと年２回繁殖が行われるとの事です。

クラブでは、これまでに２０１０年１月に８頭の山羊を４家族に、そして本年は新潟市の万代ＲＣの協賛を得て、８月に９家族に１８頭の山羊を贈りました。

２０１０年の分については、昨年現地調査を行いました。その結果、繁殖も順調に進み、各家族も大変感謝をしている事がわかり、一定の成果が確認され、クラブとしても我が意を強くしたところです。

これらの経緯を踏まえて、クラブとしては更に一步進めて、より持続可能であり、より広範囲に支援をすることのできる事業として、山羊銀行プロジェクトを企画いたしました。

それは、現地ダンプス村に山羊の飼育・繁殖をする山羊牧場を造り、そこで育てた山羊を地域の就学児童を抱えた貧困家庭に貸し与え、その山羊を飼育・繁殖させることで、生活の向上と児童に就学の機会を与える。そして、生活が安定した段階で、山羊あるいは現金等で若干の利息をつけて返済をしていただく。その事により事業の持続性が計れます。又、牧場で働く人々を雇うことで、地域の雇用の機会が増え、更に、牧場で飼育する山羊の乳から、チーズ等の乳製品を製造・販売することにより、牧場の維持経費の一助とする。

ヒマラヤの８０００ｍ級の峯々を見渡す高原の清澄な空気と、汚染とは無縁の餌で育った山羊からできる、このヒマラヤ高原の山羊チーズを地域の特産として、普及させることで地域経済の発展に寄与することができる。

このプログラムは、ロータリー財団が進める未来の夢計画のグローバル補助金の趣旨にも叶うものであり、特に重点分野である基本的教育と識字率の向上及び経済と地域社会の発展の二分野に対し、大きく資するものであると確信いたします。

そして、このプロジェクトの現地でのパートナークラブとして、ポカラロータリークラブ、そして事業を運営する団体として、現地のＮＧＯ法人であるダンプス・フレンドシップ・オーガナイゼーションを予定しており、既に両団体から了解をいただいております。

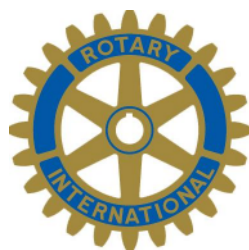
クラブとしては、このプロジェクトを未来の夢計画・グローバル補助金に応募したいと考えているところです。

◎特別発表

山羊銀行プロジェクト



2011年12月 現地調査



制作・発行/2012～2013年度 国際ロータリー第2790地区
国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会